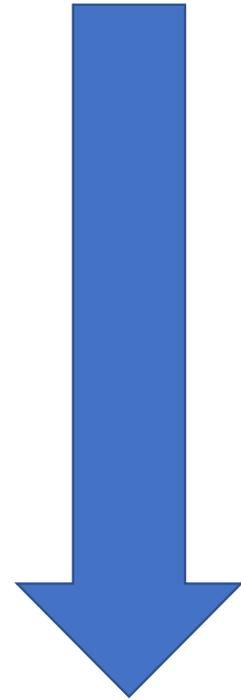


3段階診断法で診断を試してみよう

3段階診断法

- Anatomical (解剖学的)
神経学的陽性所見から考える
- Etiological (病因的)
経過表から考える
- Clinical (臨床的)
これらを総合的に考えて診断名をつける



Anatomical (解剖学的)

• 神経学的陽性所見から考える

中枢神経

…大脳皮質・大脳基底核・脳幹（中脳・橋・延髄）・小脳
 …脊髄

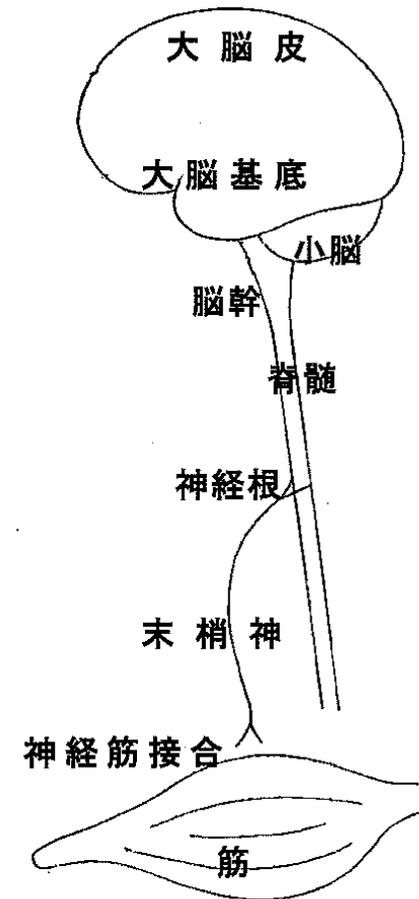
末梢神経

…神経根、運動神経、感覚神経

神経筋接合部

筋肉

	中枢神経障害	末梢神経障害	筋障害
腱反射	亢進	消失	正常→消失
筋トーン	痙縮	弛緩	正常→弛緩
筋萎縮	なし	あり	あり
繊維束攣縮	なし	あり	なし
感覚障害	不定	通常はあり	なし
その他	片麻痺など	神経根痛など	筋圧痛など



病変は出来るだけ小さくかつ1か所にする事！
 × 大脳皮質 ⇒ ○ 前頭葉
 × 脊髄 ⇒ ○ 頸髄C6

Etiological (病因的)

・経過表から考える

突発完成 : 血管障害性

急性 : 感染性・免疫性・中毒性・代謝性

亜急性 : 占拠性・感染性・免疫性

慢性 : 変性・遺伝性

急性再発性 : 免疫性

突発再発性 : 機能性

⇒脳梗塞など

⇒髄膜炎など

⇒脳腫瘍など

⇒パーキンソン病など

⇒多発性硬化症など

⇒てんかんなど

患者さんのお話を詳しくきこう！

①主訴を神経学的症状で表現する

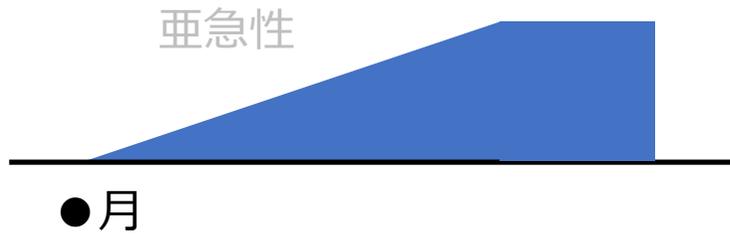
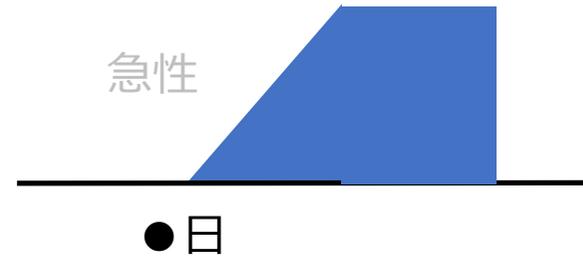
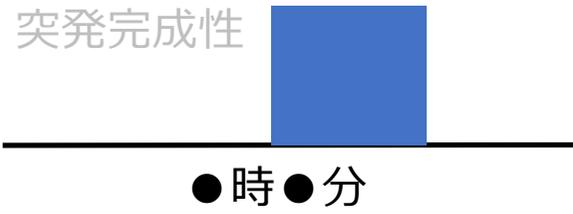
例) 歩きにくい… ⇨筋力低下？失調？

②時系列を図で表現する

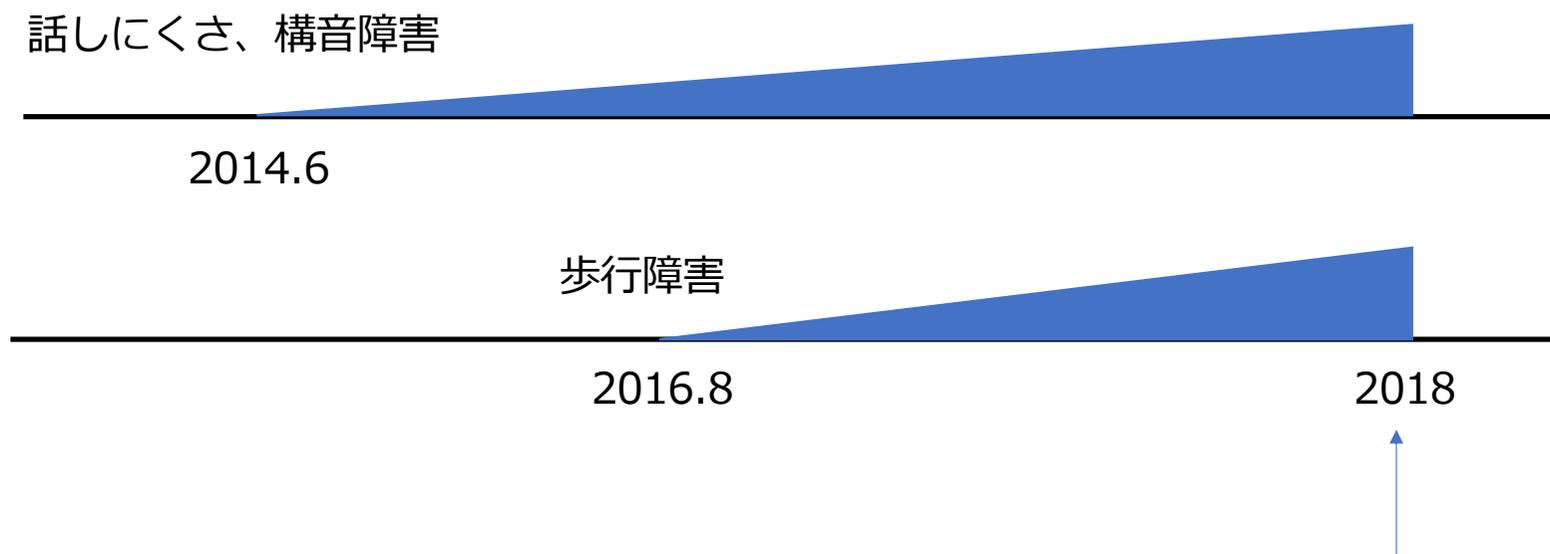
⇨年単位？分単位？

増悪？不変？

<経過表>



★経過表の例★



2014から20kg程度の体重減少あり。
1週間に1回は転んでいる。

受診直前より

- ・書字が難しくなってきた。
- ・計算が苦手になった。
- ・たまにむせるようになった。

Clinical (臨床的)

- ・ これらを総合的に考えて診断名をつける

例) 【神経筋接合部】の障害が (解剖学的診断)
急性再発性に出現し【免疫性】の機序を疑う (病因的診断)
⇒ 【重症筋無力症】 (臨床的診断)